

平成 20 年 7 月 29 日

各 位

東京都港区赤坂一丁目 1 1 番 4 4 号
株式会社 リサ・パートナーズ
代表取締役社長 井無田 敦
(コード番号：8924 東証1部)
問合せ先 経営戦略部長 石館幸治
電話番号 03 (5573) 8011 (代表)

企業投資第 2 号ファンド組成のお知らせ

本日、当社は、国内大手の機関投資家と共に「リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド2号投資事業有限責任組合」(以下「当ファンド」)を組成いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、平成 18 年 9 月に「リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド」(以下「1号ファンド」)を組成し、最終的には投資総額を 218.5 億円とした上で、その管理・運営を行ってまいりましたが、当ファンドは、その第 2 号ファンドとなります。

1号ファンドでは、当社の高度な専門性や人材を投入することで企業価値の向上が見込まれる企業を対象に、株式を中心に投資を実行してまいりました。これまで9件の投資を実行し、ファンド投資枠のほぼ全額について、既に投資が完了しております(投資実績は別添資料参照)。

これまで当社は、70 行を超える金融機関との提携関係をベースとした、広範囲なネットワークを通じて、多くの企業と悩みを共有し、事業再生や事業再構築、事業承継や成長加速等の多様な「ソリューション」を提供してまいりました。中でも、当社の「ソリューション」機能と一体で提供する、エクイティ性資金へのニーズは急速に高まっており、今後も案件の増加が見込まれます。

このような環境の下、1号ファンドによる投資が当初予定よりも前倒しで完了したことから、2号ファンドの組成に着手し、本日、国内機関投資家との契約締結に至りました。今後もファンドによる企業投資機能を持つことで、当社のソリューションに対する期待の高まりに応えると同時に、当社の投資ビジネスの成長を加速してまいります。

当ファンドの投資総額は、当初は 50 億円でスタートしますが、今後、1号ファンドの投資参加者を含めて新たな投資家からの追加出資を受け入れる予定であり、最終的には 300 億円規模を予定しています。なお、当ファンドの業務執行は、当社 100%出資子会社の株式会社リサ・キャピタル・マネジメントが担当いたします。

1. 当ファンドの内容

(1) 概要

名 称	リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド2号投資事業有限責任組合
運 営 会 社	株式会社リサ・キャピタル・マネジメント
効力発生日	平成20年7月29日
ファンド形態	「投資事業有限責任組合契約に関する法律」に基づく投資事業有限責任組合
ファンド総額	当初50億円、ただし今後300億円規模まで拡大の予定
投資対象	国内企業のエクイティ（株式）への投資が中心、ただし一部デット（債務）への投資も可能
ファンド出資者	株式会社リサ・パートナーズ 株式会社リサ・キャピタル・マネジメント 国内機関投資家
契約期間	平成27年7月31日（但し、最大2年間延長可）

(2) 運営会社の概要

名 称	株式会社リサ・キャピタル・マネジメント
設 立	平成20年4月24日
資 本 金	20百万円
代 表 者	柳 嘉夫(当社執行役員財務部長)
役 員 数	役員数 4名
株 主	株式会社リサ・パートナーズ(出資割合 100%)

2. 当ファンドの特色

当ファンドは、1号ファンドに引き続き、当社が有する「ソリューション」機能を、総合的に投資対象企業に対して提供することにより、再生あるいは企業価値向上を図ることを目的としております。投資対象は、国内企業の株式が中心です（一部債権への投資も可能）。

当ファンドの主な特色として、以下の点が挙げられます。

(1) 広範囲な案件発掘ルート

当社は 70 行を超える国内金融機関と提携しており、堅密かつ幅広いネットワークを通じて、広範囲な案件発掘が可能です。また、入札への参加ではなく、相対での案件発掘を得意としており、既に 1 号ファンドで多くの投資実績があります。

(2) 高度な金融ソリューションの提供

これまで当社が様々な案件で提供してきた高度な金融ソリューションを駆使し、各案件の特性に合わせた独自のソリューション提案や投資ストラクチャーの作り込みが可能です。

(3) リサ・グループ内の専門家集団との協働

当社は、事業再生支援、アドバイザー、各種デューデリジェンス、サービシング、プロパティマネジメント等、投資業務をサポートする専門のサービス部隊をグループ内に有しております。例えば、昨年立ち上げたフロンティア・マネジメント株式会社は、事業デューデリジェンスや事業計画の策定、ハンズオンでの経営支援等の高度な専門サービスの提供が可能であり、当ファンドとの高いシナジーが期待できます。

当ファンドは、これらの特色を活かし、他の企業投資ファンドと一線を画した投資のスタイルを追求してまいります。

3. 当期業績への影響

当ファンドの運営管理に伴う管理報酬の獲得が期待でき、また、投資による配当収益や売却収益が将来期待されますが、当期業績への影響は軽微と見込んでおります。

以 上

別添資料 : (ご参考)1号ファンドの投資実績

(ご参考) 1号ファンドの投資実績

1号ファンドの投資実績は以下の通りとなります。1号ファンドでは、ファンド組成後18ヶ月という早いペースでの投資完了を達成しました。

No.	投資対象企業	カテゴリ	投資時期	投資規模※	業種
1	A社	事業再構築	平成19年	B	不動産
2	B社	成長支援	平成19年	B	製造・小売
3	C社	再生支援	平成19年	C	製造・小売
4	(株)ホームインブルーメントヒロセ 	成長支援	平成19年	B	小売
5	サンクスジャパン(株) 	MBO/成長支援	平成19年	A	小売 (旧ジャスダック上場、TOB実施)
6	(株)マルヤ 	再生支援	平成20年	B	小売 (東証2部上場)
7	G社	成長支援	平成20年	B	外食
8	H社	MBO/成長支援	平成20年	C	製造
9	松本電気鉄道(株) 	再生支援	平成20年	B	交通・小売・観光

※投資規模 A=30億円超 B=10~30億円 C=10億円未満